

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

三山木地区

平成29年5月

京都府京田辺市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標		従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
指標1	居住人口	人	2,080	2,440 2,620	2,430	確定 見込み	● ●	△	あり なし	● ●	3,128	H29年1月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	基盤整備の充実や都市機能の集積が図られるとともに順調に居住人口は増えている。
指標2	地区内の店舗数	店	30	40 59	59	確定 見込み	● ●	○	あり なし		93	H28年6月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	道路整備等とあいまって幹線道路沿道への商業集積等が順調に進んでいる。
指標3	住民満足度	%	49.6	63.0	59.5	確定 見込み	● ●	△	あり なし	● ●	83.8	H29年1月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	道路や公園整備、商業施設の立地が進み、全体的に高い満足度が得られており非常に好評である。
指標4						確定 見込み			あり なし			H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
指標5						確定 見込み			あり なし			H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標		従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見	
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年内の達成見込み				理由	改善策の方向性		
その他の数値指標1	歩行に対する不満足度	%	37.0		23.8	確定 見込み	● ●			4.5	H29年1月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	充分な歩道幅員が確保された道路整備が進んだことで大きく改善された。
その他の数値指標2	公共空地整備率(公園・広場等)	%	67.1		87.3	確定 見込み	● ●			100.0	H28年3月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	公園や駅前広場の整備により、公共空地の整備率が向上した。
その他の数値指標3						確定 見込み					H 年 月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	地区周辺における交通機能向上	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路三山木普賢寺線(府道生駒井手線)等自転車歩行者道が開通(H28.10) ・同志社大学と三山木駅をつなぐ約1.1kmの区間は歩道・自転車道・車道が分離した安全で安心な道路空間として整備された。 ・都市計画道路南田辺三山木駅前線が全線開通(H29.3) ・新興住宅地である同志社山手地区と三山木駅前をつなぐ約1.1kmの区間にについて、歩道分離道路を整備したことにより、後背地の住宅からの駅周辺へのアクセス性が飛躍的に向上した。 	三山木駅から同志社大学等に通う学生や近隣住民などの安全性や利便性の向上が図られるとともに、三山木駅周辺の回遊性や賑わい創出に寄与。	三山木地区へのアクセス性の維持・向上のため、引き続き道路の適正な維持管理に努める。
	未整備である防災機能を有する公園の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・「谷浦みどり公園(2号公園)」「柳ヶ町さくら公園(4号公園)」が整備。 ・複合遊具やベンチの整備等により住民の憩いの空間となるとともに、耐震性のある防火水槽など地区の防災向上に資する機能を備えている。 	公園の整備により住民の憩いの空間が創出されるとともに、耐震性防火水槽の設置により地区的防災機能の向上が図られたことにより、地区住民の満足度につながり、定住人口の増加に寄与。	三山木地区の安全・安心で快適な憩いの空間の確保のため、引き続き公園並びに耐震性防火水槽の適正な維持管理に努める。
	土地区画整理事業区域内における未整備宅地の使用収益開始の促進	仮換地の使用収益開始率は順調に向上しており、概ね完了に向かっている。	使用収益開始が進むことで、居住人口の増加の促進につながった。	引き続き居住人口の増加に資する使用収益開始率100%に向けた未整備宅地の使用収益開始の促進を図る。
	公共空地(公園・広場等)における利活用方法のPR活動	<ul style="list-style-type: none"> ・三山木駅前広場(公園・広場等)においてテレビドラマの撮影が行われた。 ・三山木駅前広場にてLEDによるイルミネーション点灯を実施した。 	地区的PRや駅前の賑わい創出等には一定の貢献が認められる。	自治会のイベント等は一部行われているものの地域主体の積極的な利活用にまでは至っていないため、引き続き公園・広場等の公共空地の利活用方法に関する情報提供を行うなどPR活動に努める。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	多面的に対応可能な交通環境整備の検討	<p>〈鉄道〉 片町線複線化促進期成同盟会として、毎年、西日本旅客鉄道株式会社に対し、同志社前駅での折り返しとなっている列車の延伸とともに伴う屋間便の増便をお願いしている。</p> <p>〈バス〉 京田辺市バス交通等検証委員会を開催し、市内のバス交通に関する現状認識や課題分析、その解決に向けた方策(利用促進策や利便性向上策等)などの検討作業を行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道事業者に対する要望を継続的に行うこと、公共交通の利便性向上に向けた積極的な姿勢を示すことができた。 ・バス交通については、利便性向上のみならず利用促進策の検討を行っている。 	引き続き公共交通の利便性向上に向けた鉄道事業者への要望を行うとともに、バス交通に係る検討内容の実現化に向けた取組の推進に努める。
	生活道路等における夜間の歩行安全性向上	区域内道路の整備にあわせて街路灯・防犯灯を随時、設置している。	区域内道路の整備率にあわせて街路灯・防犯灯の設置を行っており、夜間の歩行者の安全性向上に寄与している。	これまで設置した街路灯・防犯灯の適正な維持管理に努める。
	生活支援施設導入の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・三山木保育所(子育て世代活動支援センター)が平成27年3月に新築移転。 ・施設は環境に配慮した省エネのモデル施設として整備され、また、周辺道路をゾーン30に設定することで安全・安心に配慮している。 	三山木保育所の新築移転により鉄道駅近くに位置し、施設利用者の利便性向上と施設自体の魅力向上が図られ、定住人口の増加に寄与した。 利用人数としては、保育所・子育て支援センターについてはおおむね計画どおりとなり、一時保育室については受入人数を上回る希望者がおられた日もあった。	引き続き三山木保育所の適正な運営に努めるとともに、各年代の居住者の生活を支援するため、総合的な生活支援施設の導入について検討し、地区住民の定住化を図る。
	まちの運営・管理を自主的に実施するまちづくり組織の設立に対する支援の検討	なし	なし	自治会、大学生(同志社大学)、NPO、交通事業者、商業事業者など地区内の関係者と行政の協働によるエリアマネジメントの実現に向けた支援の検討に努める。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的な内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項